

店舗お役立ち情報

〒815-0083 福岡市南区高宮3丁目11-8
 TEL: 092-522-3330 FAX: 092-522-3332
<http://www.misezukuri.com>

有限会社リード・クリエイション発行.2011年



2011年 12月号

No.126

*~小善は大悪に似たり、大善は非情に似たり~

京セラ稲盛さんの講演CD「経営のこころ」の中に『小善は大悪に似たり、大善は非情に似たり』という言葉が出てきます。

湖のほとりに住む老人が、嵐で旅立つことが出来なかった渡り鳥を可哀想に思い餌を与えました。毎日餌をやっていると他の渡り鳥も集まり、冬をその湖で暮らす渡りが増えてきました。暖かい地域へ旅立たなくても老人の餌があるので、生きていけるのです。ところが冬、突然老人は亡くなってしまいました。老人からもらう餌をあてに集まっていた渡り鳥達は、全滅しました。



老人が渡り鳥に餌を与えることを「小善」、この顛末を予測して与えないことを「大善」と言います。この逸話はふたつの言葉の意味を判りやすく説明してくれています。また他の例えで言うと、親が子供を甘やかすのは「小善」、厳しく育てるのが「大善」となります。恥ずかしながら、私も自分の子供を「小善」で育てたようです。甘やかして接したもので素直に言うことを聞かないばかりか、時として反抗的です（苦笑）この逸話を早く知っていたらと後悔しています。思い起こせばクラブ活動をしていた学生時代、チーム全員が「鬼コーチ」と陰口を叩き恐れていた一人のコーチがいました。怒鳴られ、殴られ、腰が立たないほどしごかれました。血ヘドを吐く程（ちょっとオーバーでした）厳しい指導を受け、恨みました。でもその結果、短期間で選手は全員記録を伸ばし、チームは全国でも有数のクラブに育ちました。当時は理解できなかったコーチの気持ちも、歳を取ると共にはっきりと判ってきました。浅はかな恨みは、いつの間にか感謝に変わっていました。

初代がリヤカーを引いて基礎を築いた、日本を代表する製紙会社から巨額の借入れをし、100億以上をギャンブルにつぎ込んだ、創業家3代目のスキャンダルが昨今マスコミを賑わせています。特別背任の疑いで逮捕された47歳になる前会長、この歳になるとさすがに父親からの厳しい叱責も手遅れだったようです。甘いばかりの父親、厳しく叱ってばかりの上司、はたまた両方を兼ね備えた社長。

さてあなたはどんなタイプのリーダーが理想ですか？ (F)

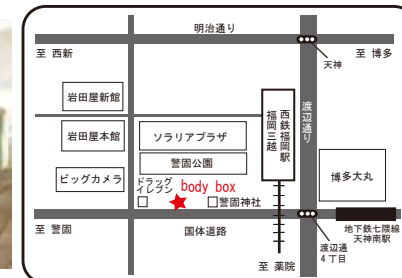
CD「稲盛和夫の経営のこころ」
 [CD-ROM]
 稲盛 和夫 (著)
 価格: ¥ 6,300

リード・クリエイション・プロデュース *究極のほぐし技! マッスルケアを体験してみませんか?

bodybox
 BODYCARE・RELAXATION

ボディケア&マッサージのボディボックスがフラッグ店として、天神に新店舗をOPENしました。オーナーである太田優士さんのボクサー時代の経験を生かした、タイ古式×加圧トレーニング×スポーツマッサージを組み合わせた究極のほぐし技「マッスルケア」が体験できます。足技を使って身体の深層部のコリまで揉み解すのが特徴です。施術室はすべて個室となっており、ゆっくりとリラックスすることが出来ます。

住所 / 福岡市中央区天神2-2-13
 サンペアービル2F
 TEL / 092-761-7850
 営業時間 / 平日10:00~22:30
 土曜10:00~21:00 日祝10:00~20:00
 店休日 / 毎月15日、末日
<http://www.bodybox.jp/>
 ブログ <http://ameblo.jp/bodybox/>

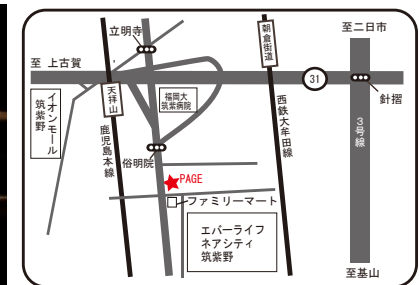


リード・クリエイション・プロデュース *家族みんなと一緒にできるサロン

PAGE hair design

筑紫野市俗名院（イオンモール近く）に「PAGE hair design」が完成致しました。美容業界に深く携わってきたオーナーが独自のリサーチを重ね、お客様が本当に求めているサービスを提供するお店としてついにOPENを迎えます。店内はシンプルかつ落ち着いた空間になっており、また授乳室やオムツ替えのスペース、ipadなども準備されており、お子様連れやご家族と一緒にできるサロンとなっています。

住所 / 筑紫野市俗名院1-6-8
 シヤトレ番館1F
 TEL / 092-980-1426
 営業時間 / 9:30~19:00
 店休日 / 月曜日
<http://www.page-beauty.com/>
 ブログ <http://ameblo.jp/murai06/>



編集後記

時折、耳の奥の方から聞こえてくる言葉があります。「どう言ったら、わかるんやろうかあ」ため息交じりの女性の声です。次には「あんたが憎くて言ってるんやない」最後にはペシッとおでこを叩かれる音が響きます。・・・現代のように携帯電話の無い30年ほど前、本人と連絡をとる方法が難しく、誰かと約束をした場合、寛容な人である事を祈るか、命がけで守るか。(笑)万が一、違えてしまうと[信頼]という壺から{信}が、サラサラと流れ落ちていくのです。「信用を得るには長い時間が必要だけど、失くすのは一瞬!」・・・連日連夜、仕事が遊びなのか帰宅時間の遅い娘に向けた母親の喝!なのでした。「たとえ家族だろうと、待っていてくれる人がいるとわかっていて、遅れた事を申し訳ないと思うなら、連絡するのが当たり前。電話の1本も入れられんほど忙しい総理大臣ですか!あなたは!。。。」毎晩、玄関先で怒鳴られていた娘のその後は、本日もお客様のもとへ「5分ほど遅れますー」と元気に事務所を飛び出してる・・・という日々をおくらせてもらってます。 BY. みちか